



一宮市伝馬通3丁目商店街振興組合



キャッチフレーズ

花と憩いの街

事業実施の背景

平成 8 年にアーケードを建替えた際、何か商店街の特色を打ち出したいと考えていたところ、カナダには花で飾られた美しい街があるという情報を聞き、現地へ視察を行った結果、「花と憩いのある街」をテーマとした取り組みを考え、伝馬通を年中花で装飾し憩いの街づくりを行った。

事業の概要

「花のある街」をテーマに、街づくりの観点から市民との「協働」関係を築き、様々な事業を実施している。

ハンギングフラワー装飾と花籠会

花のある街とするため、平成 10 年から、アーケードの柱にアームを取り付け 79 基のハンギングフラワーを飾っている。自動灌水装置も取り付けられたこの花々は、目線の高さに飾るため、おしゃれで装飾効果が高い。

年中花の絶えることのないよう、約 100 名の市民ボランティアによる「花籠会」(はなこかい)を立ち上げ、そのメンバーにより年 3 回の植え替えを行っている。また、植え替え毎に、ハンギングフラワーの作成をした人の名前を支柱に掲示することにより、街づくりに参加しているという意識を高め、来街者の増加に繋げている。



<ハンギングフラワーバスケット>

テンマガーデン

平成 17 年に誕生した「テンマガーデン」は、商店街内交差点の一角を飾る花壇として、年 3 回の植え替えを花籠会とともにし、四季折々の花を飾り、来街者の目を楽しませている。



<テンマガーデン>

一宮市

広報誌「ten・ma ストリートジャーナル」

商店街の情報を伝えるタブロイド版で、年4回・各7000部発行している。花籠会の会員の募集や、顔が見える商店街づくりの一環として店主やおかみさんの顔写真も載せている。

事業の効果

- ・ 毎年、市民ボランティア「花籠会」への参加・協力をお願いする際、花に関する講習会等を開催した結果、花による街づくりを行うことへの共感を得ることができ、協働関係を築くのみでなく、商店街の取組みへのサポーターを多く育成することができた。このため、平成16年に商店街内の大型店が撤退したにもかかわらず、来街者は大きく落ち込むことはなかった。
- ・ 平成17年度に空き店舗が2店埋まった上、残り2店舗も引き合いがあるなど、空き店舗が減っている。

事業の課題

- ・ 市民との協働・連携体制を維持・拡大していくため、常時コミュニケーションの機会を設け、良好な関係を維持していくこと。
- ・ 近隣に大型マンションの建設が進んでおり、居住者の増加が予想されるが、こうした人たちを商店街の活動に巻き込んでいく工夫。

その他の取り組み

おかみさんショップ

商店街のおかみさんたちが、商店街の一角にあるふるさとプラザで全国各地からおいしいものを取り寄せ販売。商店街の活気の源泉となっている。

ふるさと新鮮市

岐阜県清見村・根尾村、長野県下伊那郡・木祖村などの物産品を販売。(年2回)

安心・安全な街づくり

「防犯カメラ」の設置による「地域の安心・安全な街づくり」。(平成18年度)

一宮市伝馬通3丁目商店街振興組合

所在地：一宮市（JR尾張一宮駅、名鉄一宮駅東）

問合せ先：理事長 宮田博道

電話（0586）72-3740

